

平成 26 年度 第 5 回中部地区レフリー初心者講習会 実施報告書

- 1、日時：平成 27 年 3 月 15 日（日）
- 2、場所：北条中学校 体育館
- 3、参加人数：20 名（日本公認審判員 11 名含む）
- 4、講師：鳥取県中部地区審判員
- 5、内容

8：30～8：45 講義講習

- ・ 4 原則の確認
 - スペースウォッチング
 - オールウェイズムービング
 - とにかく間を見に行く努力 リードは縦、トレイルは横
- ・ 2 人の協力（ボクシングイン）
 - アイコンタクト、サムアップ
- ・ 所作を丁寧に
 - 手を上げて時間を止める
 - ラン → ストップ → レポート → ラン
 - スリーカウントでレポート など

9：00～16：30 ゲームを使った実技講習

- ・ 実際のゲームの中で審判をする











6、参加者の声

北条中学校 會見 修一

最初の講義で、倉吉総合産業高校の神田先生から審判をする際の 4 原則を教えてくださいました。その中でも大きく 2 つの原則を今日のテーマにするとのことでした。一つ目は『オールウェイズ・ムービング』。常に動き、選手よりも先回りして試合を把握する必要がある、ということでした。二つ目は『スペース・ウォッチング』。オフenseとディフェンスの間のスペースを見るように心がけないと、どちらが何をしたのか判断できないから、とのことでした。『スペース・ウォッチング』をするためにも『オールウェイズ・ムービング』が重要である、ということも聞きました。

最初の試合では、公認の審判の方二名の演習を見ました。これまではプレイヤーの様子をずっと見てきましたが、審判の動きを観察するのは初めてのことでした。神田先生から話していただいた二つのポイント以外にも、きめ細やかに目を配り試合の流れを把握して笛を吹いておられて、感心するばかりでした。

他の試合でも、間近で審判の様子を見ながら、指導員の方が小さな質問でも丁寧に解説してくださり、大変勉強になりました。ファウルを取るポイントや所作の数々、動き方等を聞く度に「さっそくやってみよう」と気持ちが逸りました。

自分が審判をした際には、まずは『オールウェイズ・ムービング』と『スペース・ウォッチング』に意識して頑張ろう、と思ったのですが、それがまず難しく感じました。プレイヤーの動きを予測したり、逆に動かずに観察したり、流れが変わるたびに頭を切り替えていかなければならないので、非常に慌てていました。途中から指導員の方に先導していただき、助かりました。また、2 ピリ後と試合後にミーティングを開いて、講評・ご指導いただき、課題が見えて、次の試合では自信を持って動ける場面ができました。

初めてのことが多く、ご迷惑をたくさんおかけしましたが、プレイヤーや試合を見る視点がわかり、大変勉強になりました。本当にありがとうございました。

7、最後に

初心者講習会の開催も今年で 5 回目となりました。今年は、ゲームの主任を公認審判員の方と一緒に未公認の方にも受け持ってもらいました。その成果か、ゲームを見ながら出てくる疑問を、その場その場で聞いておられる光景がたくさん見られました。受け身の講習ではなく、積極的にいろいろな方がいろいろな角度から話のできる、大変盛り上がった講習会となりました。多くの公認審判員の皆さんに協力をして頂いたおかげでこのような形をとることができました。

最後に、お忙しい中にもかかわらず会場を提供・準備をして頂きました北条中学校のチーム関係者の皆様、ゲームに協力して頂きました中部地区の中学校のチーム関係者の皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

(文責：神田 竜馬)